

今回は、パン工房で就労する利用者様に日々の様子を聞くことができました!

オйкаワさん

Q パン工房での就労はどのような感じですか?

A やることが多くて飽きることなく、想像よりも体を動かします。洗い物や片付けが多かったりして忙しかったときに大変さを感じますが、作業を終える時間が短くなるほど成長を感じて嬉しくなります。



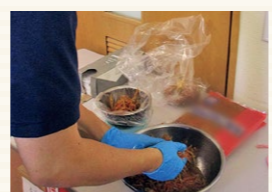
Q 好きなパンはありますか?

A 湯ごねフランスが好きです。トースト、付け合わせ、スープに浸して食べるなど、アレンジいっぱい楽しめます。

パン大好きさん

Q パン工房での就労はどのような感じですか?

A 袋詰めするパンの量が多くて驚きました。仕事では、無心になってできる仕込み作業が楽しいです。新しい作業をするときには困難を感じますが、覚えた作業をこなしたときにはやりがいを感じます。



Q 好きなパンはありますか?

A たまごパンが好きです。具がみっちりつまっていておいしいです。



あなたのできるを応援する

Arriete

Introduction

地域活動支援センターアイ・キャン
相談支援事業所 コンサルの活動



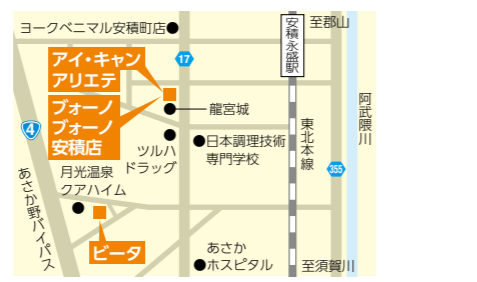
CONTENTS

- ◆特集 地域活動支援センター アイ・キャン 相談支援事業所 コンサルのご紹介
- ◆事業所トピックス ビータ / コラッジョ / みはる工房 / アイ・キャン
- ◆Buono通信
- ◆ご寄付のお願い

世界メンタルヘルスデー

毎年10月10日は「世界メンタルヘルスデー」です。あさかホスピタルグループでは、誰もが世代・障がいを越えてお互いの存在を受け止め支え合う思いやりにあふれた社会の実現を本気で考えています。私たちは「心の声に耳を澄まそう」を合言葉にこころを支える輪を広げていきます。

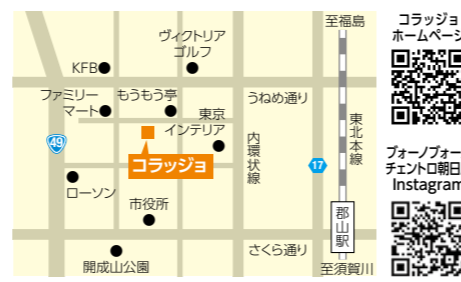
認定 NPO 法人アイ・キャン事業所のご紹介



アリエテ
指定相談支援事業所 コンサル
多機能型支援事業所 コラッジョ
地域活動支援センター アイ・キャン
TEL 024-945-1130 (法人本部)
FAX 024-945-1129
E-MAIL ican@asaka.or.jp
〒963-0107 郡山市安積 4-3-1

パン工房 フォーノフォーノ 安積店
TEL 024-983-5831
〒963-0107 郡山市安積 4-3-1

共同生活援助事業 ビータ
TEL 024-973-8515 FAX 024-973-8516
E-MAIL vita@asaka.or.jp
〒963-0102 郡山市安積町世川字四角担 59-2 (グループホーム「ラッチャクン」) 1F



多機能型支援事業所 コラッジョ (朝日サテライト)
パン工房 フォーノフォーノ チェントロ朝日店
TEL 024-927-5685
〒963-8024 郡山市朝日 3-5-16 (イルチェントロあさかビル1F)



就労継続支援B型事業所 みはる工房
TEL 0247-62-2801
E-MAIL miharu-koubou@mountain.ocn.ne.jp
〒963-7712 田村郡三春町大字案内字孝戸 71-1

ご寄付のお願い

当法人は令和6年10月1日付で認定NPO法人に認可されました。障がいがあっても自分らしく生活でき、共に生きられる地域社会に向けて包括的支援に取り組んでおります。活動にご興味があり、協賛いただける方は是非ご連絡ください。ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 寄付金額 一〇 3,000円
- 寄付方法 現金もしくは振込にて受け付けております。
- 振込口座 ゆうちょ銀行 当座預金 二二九店 口座番号 98452
- 口座名義人 (トクヒ) アイ キャン

【お問合せ先】

認定 NPO 法人アイ・キャン
TEL : 024-945-1130
Mail : ican@asaka.or.jp
福島県郡山市安積 4-3-1

編集後記

広報誌 Vol.2 が完成しました！ 今回の特集でアイ・キャンの幅広い活動をさらに知っていただけたのではないのでしょうか。また、今回はたくさんのイベントがあり、参加された皆様の笑顔が輝く広報誌になりました。これからも、「楽しい時間」と「安心して過ごせる場」を大切にしながら、皆さんと一緒に活動していければと思います！

発行日 1月20日 発行認定NPO法人アイ・キャン 住所 福島県郡山市安積 4-3-1 TEL 024-945-1130

みんなに知ってもらいたい！
地域活動支援センター アイ・キャン 相談支援事業所 コンサルの活動

地域活動支援センター アイ・キャン

地域活動支援センター アイ・キャンでは、自立支援を必要としている方や障がいのある方が「私もできる(I can)」と夢を持って、明るい地域社会に向け活動しています。支援活動としては居場所づくり、軽作業やクラブ活動の企画などを行っています。



スタッフ 阿野さん、野村さん、安藤さん

カラオケの得意な/
利用者 Oさん

精神的につらいときにも、アイ・キャンという居場所があって助かりました。仲の良い友だちもでき、ラベル貼りの仕事もやりがいがある楽しいです。

手先が器用な/
利用者 Mさん

アイ・キャンのクラブ活動でバッグを作りました。いろんな活動や作業があり、嬉しいです。



芸術的作品を創作できる/
利用者 Rさん

創作活動など基本的に自由にさせてもらえるので助かっています。みんな優しく、来る楽しみがあり、体調も以前より良くなりました。

笑顔の素敵な/
利用者 Kさん

アイ・キャンに来ると社会の一員になっているという実感が嬉しく、仕事も楽しく行えています。

軽作業のていねいな/
利用者 MSさん

生活リズムを整えるために通っています。楽しいイベントもたくさんあります。

相談支援事業所 コンサル

相談支援事業所コンサルでは、地域で暮らす障がいや疾患を持った方々がより自分らしい生活ができるように支援を行っています。「ピアサポーターの研修事業」や、「にも包括」という仕組みづくりにも参画しています。



スタッフ 佐々木さん、吉田さん、三重堀さん、野中さん、三浦さん

特定相談支援

障がいを持った方が、自分に適した福祉サービスを利用できるように支援を行います。相談しながら利用計画を立て、定期的にサービス内容を振り返ることで目標とした生活に近づけるように一緒に考えます。

ピアサポーター研修

自らの精神疾患や障がいの経験を活かし、ピア(仲間)として支え合う活動をする方々をピアサポーターと呼びます。ピアサポ研修では、ピアサポーターとして活動するために必要な知識や技術を身に着けます。



にも包括

「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」のここと。精神障がいの程度にかかわらず、安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、福祉、住まい、社会参加などが包括的に確保されたシステムです。

2025年事業所トピックス

就労支援事業所 はたらく コラッジョ

9/15 リリーフクラブを結成!

リリーフクラブは、アイ・キャンの利用者の皆様の余暇をより良いものにするために、メンバーさんと一緒にイベントを企画・開催し、生活や就労意欲の向上につなげるために結成されました。第1回目の活動は、祝日を利用して朝日サテライトで行いました。リラクゼーション体験や、ジェンガを使った自己紹介ゲームなどを行い、自然と会話が生まれる楽しい交流のひとときとなりました。これからも、就労をがんばる皆さんの「ちょっと一息つける場所」を一緒に作っていきます。



グループホーム はたらく ビータ

お楽しみメニューを実施しています。

グループホーム・ビータでは、入居者に食事の楽しみを感じていただけるように、毎月お楽しみメニューを提供しています。入居者様からは「おいしかった」「来月も楽しみにしてます」「私はあれが食べたいな」という声が聞こえ、コミュニケーションにもつながっています。入居者様の笑顔を見ることができて、支援者も嬉しくなる時間です。



就労支援事業所 はたらく みはる工房

10/17 レクリエーションでバーベキューを実施しました。



利用者様10名と職員5名が参加し、協力しながら準備を行いました。職員の親族から頂いた採れたての野菜や職員手作りのスイートポテトもふるまわれ、利用者の皆さんは思い思いに秋の味覚を楽しんでいました。「たくさん野菜やお肉を食べられて大満足」「お皿洗いなどの片付けが生活訓練になった」といった感想が寄せられ、楽しく充実した一日となりました。

Interview 実習生インタビュー

7月から9月にかけて、精神保健福祉士を目指す学生の実習を受け入れました。実習では利用者様の就職先でのフォローアップ支援への同行や、あさかフェスや就労場面への参加、にも包括会議への出席などを通して、それぞれの利用者様が抱える課題に、ともに真剣に向き合っていました。

福島学院大学 長谷川 萌さん



実習の中で「精神保健福祉士は人生を支える専門職である」という言葉が印象に残りました。一人ひとりの抱える複雑な課題の解決には、本人の意思に向き合い一緒に支援を考えていくことが大切だと学びました。

福島学院大学 廣川 朱華さん



「働く」や「活動」には人それぞれの理由や目的があり、自分の関わりは、その人の今までやこれからの一部分、一場面であるということを確認しました。サテライトのプログラムなど、実習を通して自分の考えを深めることができました。

岩手県立大学 佐々木 楓花さん



実習では、にも包括会議やパンの販売など地域と関わる機会が多くて驚きました。実習を通して「障がいがあるから」ではなく、「一人の人間としてどう生きていきたいか」を大切にすることが重要だとわかりました。

認定NPO法人 アイ・キャン

9/28 あさかフェスティバルに参加しました。

今回のあさかフェスのテーマは「未来共奏～未来に向かって、一緒に奏で盛り上がりよう～」。様々な楽器の音色が重なる音楽のように、人と人が力を合わせることで未来を創りあげたいという願いが込められています。

アイ・キャンはステージを担当し、主に当日の準備・運営に関わらせていただきました。ステージでは4つの団体様が、素晴らしいパフォーマンスを披露くださり、大いに盛り上がりました。

その他、パン販売も担当しました。オープン前から列ができるほど人気で、開始1時間ほどで全商品が売り切れとなりました。

当日は大変な忙しさではありましたが、ボランティアの方々のご協力もあり、スタッフ一同充実した一日を過ごすことができました。

